

# 梅之木通信

## 【縄文住居をつくる会】

第35号 2022.10.3 発行

### 縄文土器の野焼き

10月1日、台風の影響で一週間延期となった土器の野焼きがやっと実施できました。当初の予定日も開始予定時刻には雨も上がり、お天気は良くなったのですが、前日の大雨の影響で地面が湿気を含んでおり強行したとしてもなかなか野焼きに必要な温度に上がらず苦労したことと思います。一週間延ばしたお蔭で、天気も快晴、四方の山々も見渡せ、絶好の野焼き日和となりました。

みなさん、思い思いに工夫を凝らして作成した縄文土器がどのように焼きあがるのか、さぞかし待ち遠しかったことかと思えます。野焼きでは徐々に温度を上げていくため、いつもの午前中の時間帯だけでは土器が焼きあがらないため、お昼の準備として同時並行でカレーライスづくりもおこなわれました。子供たちからは、『まだか、まだか』の催促。やはり土器の完成よりもカレーライスの方が気になっていたようです。カレー料理班、3号棟修理班、野焼き火の番、に分かれて作業開始です。

#### ❖ 展示室で保管、乾燥していただいていた



❖ 下に敷いた葉の葉脈がくっきり 葉が付いたままのものも

#### ❖ 野焼き準備開始



❖ 作成された土器を運んで準備万端です



❖ 快晴の青空や南アルプスの山並みもこの日を待ちこがれて

いたかのような野焼き日和の一日になりました



- ❖ 火のまわりに土器を並べ、火のあたる場所が偏らないよう土器を廻しながら 200℃くらいまで温度を上げていきます



- ❖ 土器も暖まってきたら、火を広げて中に土器を置いて本格的に野焼き開始（600℃で焼きます）



- ❖ 鹿肉入りのカレーも出来上がりー休み、トッピングもいろいろ、おなか一杯になったかな？



- ❖ 次第に土器の周りがススに覆われて黒くなってきました



- ❖ 最後に全体を火で包み込み 800℃に栗の木も焦がされるくらいの勢い

- ❖ 黒かった土器のススが焼けて赤い色に変わりました



- ❖ 灰の中から慎重に土器を運び出して完成です

❖ 貴重な土器製作体験の一日でした。玄関や机に飾るのか、その後の様子も聞いてみたいと思います。